

会計	37	市場事業費特別会計
款	1	市場事業費
項	1	市場事業費
目	1	市場関係者詰所管理費

所管課	水産課
事業名	市場関係者詰所管理費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	1,048	913		902			902	▲ 146
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	1,048	913	902			902	▲ 146
一般財源								

事業概要	市場関係者詰所の運営と維持管理に必要な経費	今年度見直し事項	
事業目的	境漁港の荷揚機能の集約化、円滑化を促進し、合理的な荷役体制の整備を図る。		
現状と背景	市場関係者詰所は昭和49年から供用開始され水産関係者に利用されている。市場関係者詰所には広さ27㎡～42㎡の部屋が13室あり現在の入居数は2室。	その他	

会計	37	市場事業費特別会計
款	1	市場事業費
項	1	市場事業費
目	2	汚水処理施設管理費

所管課	水産課
事業名	汚水処理施設管理費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	99	102		102			102	3
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	99	103	102			102	3
一般財源		▲ 1						

事業概要	汚水処理施設の運営と維持管理に必要な経費	今年度見直し事項	
事業目的	水産加工場から排出される水産加工排水の汚水処理施設での一元処理により、安価な処理費と安定的な操業、周辺水域の環境保全の推進を図る。		
現状と背景	汚水処理施設は昭和47年に水産加工排水の一元処理を目的に設置された。平成25年度において汚水処理施設では21事業所(22工場)から排水される汚水の処理を行っている。	その他	

会計	37	市場事業費特別会計
款	1	市場事業費
項	1	市場事業費
目	2	汚水処理施設管理費

所管課	水産課
事業名	汚水処理施設改築事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	150	150						▲ 150
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	150						▲ 150
	一般財源		150					

事業概要	<p>境港水産加工汚水処理施設の老朽化した管渠及び施設の改築          ①4000t系列の管渠改築 ②4000t系列の汚泥濃縮槽改築 ③汚泥設備機器の改築 ④1500t処理施設の貯留槽の改築 ⑤1500t系列の管渠改築          ※境港市産地協議会を設立し、水産庁の産地水産業強化支援事業の活用し、境港市が事業主体なり事業を実施した。(平成24～27年度)          ※平成28年度は、繰越事業も含む平成27年度までの事業の実績報告や完了検査などの打合せに必要な旅費。</p>	今年度見直し事項	
事業目的	<p>水産加工業は境港市の基幹産業であり、加工排水処理は安定的な操業を確保するためには、重要かつ不可欠な条件である。境港水産加工汚水処理施設は、昭和47年以来この地域の水産加工排水処理を一括して担ってきたが、老朽化が著しく、このままの状況では本市の水産物流機能停滞と地域経済への影響が懸念される。市は、これまでも水産加工業の振興のため、市場背後地の機能強化のため整備の事業主体となり積極的な支援を行ってきた。</p>		
現状と背景	<p>4000t系列の管渠については、平成19年8月に破損事故が発生。平成21年に実施した調査においては、管圧が50%腐食するなど改築が急務とされた。中長期整備計画を公社とともに策定中であつたが、昨年6月管渠劣化による陥没事故が発生。事故を受け「計画を前倒して改修に取り掛かるべき」との結論に至り、市が事業主体となり、平成24年度から事業着手している。          平成27年度中に全ての工事が完了し、実績報告書の提出や完了検査が行われる。</p>	その他	

会計	37	市場事業費特別会計
款	1	市場事業費
項	1	市場事業費
目	2	汚水処理施設管理費

所管課	水産課
事業名	境港水産加工汚水処理場整備基金積立金
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		48,607				15,402	15,402	15,402
財源内訳	国							
	県							
	市債		52,000					
	その他		69			15,402	15,402	15,402
一般財源		▲ 3,462						

事業概要	境港水産加工汚水処理場整備基金条例に基づき、市場事業費特別会計で生じる余剰金、寄附金又は基金に係る預金利息等の運用益を積み立てるもの。	今年度見直し事項	
事業目的	市場事業費特別会計で生じる余剰金、寄附金又は基金に係る預金利息等の運用益を「境港水産加工汚水処理場整備基金」に積立て、有効活用を図るため。		
現状と背景	境港水産加工汚水処理場の改良、修繕等の財源を確保するため、「境港水産加工汚水処理場整備基金」を設立し、市場事業費特別会計で生じる余剰金、寄附金又は基金に係る預金利息等の運用益を積み立てる。	その他	

会計	37	市場事業費特別会計
款	2	公債費
項	1	公債費
目	1	元金

所管課	水産課
事業名	長期借入金元金償還金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	33,260	51,901		51,901			51,901	18,641
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	33,260	51,901		51,901		51,901	18,641
	一般財源							

事業概要	汚水処理施設の建設・改築で発行された市債の元金償還金	今年度見直し事項
事業目的	水産加工場から排出される水産加工排水の汚水処理施設での一元処理により、安価な処理費と安定的な操業、周辺水域の環境保全の推進を図る。	
現状と背景	昭和47年に設置された境港水産加工汚水処理場の処理能力の向上や機能維持のため新たな施設の建設、既存施設の改築が実施された。平成17年度から18年度まで初期に設置された貯留槽を改築、また、平成24年度から27年度(26年度繰越)まで、国の産地水産業強化支援事業を活用し、汚泥濃縮槽・設備機器の改築、及び附帯施設である管渠の改築を行った。	
		その他

会計	37	市場事業費特別会計
款	2	公債費
項	1	公債費
目	2	利子

所管課	水産課
事業名	長期借入金利子償還金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	10,135	7,958		7,958		▲ 1,287	6,671	▲ 3,464
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	10,135	7,571		7,701	▲ 1,030	6,671	▲ 3,464
一般財源		387		257	▲ 257			

事業概要	汚水処理施設の建設・改築で発行された市債の利子償還金	今年度見直し事項
事業目的	水産加工場から排出される水産加工排水の汚水処理施設での一元処理により、安価な処理費と安定的な操業、周辺水域の環境保全の推進を図る。	
現状と背景	昭和47年に設置された境港水産加工汚水処理場の処理能力の向上や機能維持のため新たな施設の建設、既存施設の改築が実施された。 平成17年度から18年度まで初期に設置された貯留槽を改築、また、平成24年度から27年度(26年度繰越)まで、国の産地水産業強化支援事業を活用し、汚泥濃縮槽・設備機器の改築、及び附帯施設である管渠の改築を行った。	その他

会計	37	市場事業費特別会計
款	3	予備費
項	1	予備費
目	1	予備費

所管課	水産課
事業名	予備費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	500	500		500			500	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	500				500	500	
一般財源		500		500		▲ 500		

事業概要	市場特別会計における予備費	今年度見直し事項	
事業目的	不測の事態による突発的な支出に対応するため。		
現状と背景	平成20年度から500,000円を予備費として予算計上している。	その他	